

元氣ハツラツ、ぼくの夏休み 相棒あり、ソロありの変則旅 東北の主要「湖」制覇セヨ 予定は未定の現地決定でゴー!

香取薫(42歳)

ホンダX11(03年型)
神奈川県川崎市

ぼくのなつやすみ

夏休みっていつ取ったっけ? あ
あ、えーと確か最後は、2002年
にバイクで北海道行ったときだった
な。ふーん、そっかあ……ってこた
あナニかいっ? 3年間夏休みまし
かよっ! 「社長、休みます!」。
ってな葛藤がありやなしや、いず



ツブルをゲット!
ってなことを前々日の24日に自分
のホームページの掲示板に書き込み

は「東北」に決まり。と
りあえず東北のツーリンググマ

に思えてきた。

うち、なかなか
いいアイデア

えたりしている
に会うことも考

乗るヨコチャン
に会ったことある

上司の話の聞いた、福
島にいる同じバイク

であれば、これまでバイクでは通
過しかしてない東北を、攻略する
のはどうだろう?

まだ北海道へいくべか? でも日数
的にそれはほぼムリだ。

んで、休みはいいがどうすべ?
はあ、まいて、ムフフ。

申請した。上司はすでに1週間前に、
同様に夏季休暇を取得しており、否

れにせよ、今回支給された4日間の
夏休みのうち、3日間を使用し、急

きよ8月26日から30日までの休暇を
申請した。上司はすでに1週間前に、

旅のデータ

日程●2006年8月26日~29日

走行距離●1823km

平均燃費●16.7km/ℓ

費用●6万3064円(宿泊代2万
310円、高速代1万6890円、
ガソリン代1万4925円、その他
1万939円)



●朝の十和田湖畔をまったりと散策

しておいたら、反応あり!
急ぎよ、同じX11に乗るXEOS
(X11 Owners Site●<http://xeos.hp.infoseek.co.jp/>)メンバーの友人
(以下「かえるさん」)から同行した
いと連絡あり。じつはその時点で
決定していたスケジュールはわずか

十和田湖侵攻セヨ

■2006年8月26日(土)

本日は一挙に東北、青森県は十和
田湖まで移動だ。その距離約700
km弱。おそらくはこれまでのバイク
ライフで(クルマを含めても)最長
の移動距離になる。

4時起床。さすがにまだ暗い。出
発の支度をしている間にカミさんが
握り飯を作ってくれた。これをタン
クバッグに押し込み、とりあえず出
発前の写真を撮影してもらう。5時
25分出発した。

首都高速に羽田から入る。じつは
今回に備え、ETCカードを調達
(クルマには未導入)し、マイレ
ージ登録を済ませておいた。今日は初
めての利用になる。

5時40分に首都高速入りしたのだ
が、ラッキーなことに早朝割引が適
用され700円→560円だった。
いいねえ、これは。

空はだんだん明るくなり、特に問
題なく順調に進み、川口から東北自
動車道へ。そして、6時25分、東北

に以下。主目的、東北の主要な湖の
制圧。まずは第一目的地である十和
田湖まで侵攻。そして、十二湖・田
沢湖・猪苗代湖の各湖を制圧。
これしか決まっていなかった(これ
もカナリいいかげん)のであるが、
さすがに同行者がいるということ
で、十和田湖の宿だけ押さえて旅に
出ることになった。

すべてが思い加減で、荷物の準備
を含め、すべて前日の夜に実施した
のである。これでいいのか? まあ
いいでしょう(笑)。明日は早い。
前日は、若干早めに就寝。

「出発」



●左が赤いかえる号。右の黒が私の相棒

道連田S.A.に着いた。
すでにかえるさんが到着している。そして、持参のおにぎりを渡して一緒に食べる。かえるさんは、かなり眠そうだなあ……。

では出発！ すでにここまでで60km走ったが、ここから610kmの東北自動車道の旅の始まりだ！

以降は順調に、7時52分・上河内S.A.、9時40分・安達太良S.A.、10

時50分・蔵王S.A.、12時6分・長者原S.A.、13時47分・紫波S.A.。天気は相変わらず良好！ 15時21分・花輪S.A.。忠犬ハチ公はこの生まれだったのか……知らなかった。……とまあ、なんか非常に簡略化して書いてしまったが、この花輪が最後のS.A.。この先の出口「小坂」（十和田の先）にて東北自動車道の旅は終わりとなる。

15時50分、無事東北自動車道を出る。最初はくもり気味の天気であったが、福島を抜けるぐらいいから青天に変わり、以降は湿度も低くとても気持ちのいい夏空が続いていた。そしてここの十和田も……。ああ、長かったなあ。なんだか一日高速道路にいた気がするなあ。

岩手を抜けると、もうあまりクルマも走ってなくてほとんど貸し切りだった。あ、途中の岩手山の写真を撮るのを忘れてしまった。まあいいか。

というわけで県道2号を走っていると、「七滝」が現われる。16時3分、七滝到着。

大規模な滝というわけではないが、段々になっていてなかなか面白い。そろそろ「夕刻」という時間帯であるが、まださわやかな暑さが残り、滝の音とまわりの緑が非常にいい感じの場所であった。

さて、後は宿に向かうのみだな。途中、笹森というちよつとした峠を抜けるのだが、そこに展望台があったので写真を撮影。遠く、岩手山も見える（らしい）。

夕陽を眺めつつ 湖畔の国民宿舎へ

そして、さらに歩を進めれば、十和田湖が見えてきた！ 初めて見る十和田湖である。空の色よりも少し濃い目の青が視界に入ってきたときには、心の中で拍手してしまった。「来たぜ！ 十和田湖さんよー！」そうして、ほどなく我々は宿に到着。16時48分である。今夜の宿泊はニッポン国民ならではの国民宿舎、十和田湖温泉である。だいたい家

出てから12時間近いよなあ。でも、その程度でこの「地の果て」（青森の皆さま、ごめんなさい）に来れるんだからなあ。俺らすごい、X11マシーナ！

夕食は若干遅めにしてもらい、温泉でひとつ風呂浴びてちよつと十和田湖を散策した。

いいなあ、こんな夕日が見られるだけで私は十分である。ほとんど誰もいない。静かな湖畔である。来たかいがあったというものだ。

静かなる、荘厳さを感じるこの湖畔をかえるさんと歩き、やっぱりいつもの下ネタを話しながら宿に戻る。なぜ我々はこうなのだろう。おそらくかえるさんの問題であろう、うん。

まあ、それはさておき、宿に戻り飯を食い、早々にふとんを敷いて、まったりとした夜へ突入。明日のルートも、なんだかんだと迷いつつ、検討を始める。とりあえず、十二湖と田沢湖は外せないよなあ……。

秋田に泊まれば余裕はあるが、田沢湖が外れるし、どーしたもんか？ んあ？ かえるさんがぐーすか寝てしまった。しかたねえなあ、再度ルートマップとにらめっこ。

秋田を避けて、途中から田沢湖に抜けるショートカットを使えばどうにかなりそうだな。では、決定！ やっぱし田沢湖に行くとしよう。

宿は……どうにかなるかと思っただけど、とりあえずネットで調べて、田沢湖畔の民宿に電話をした。さすがに日曜の夜ということですがいい。料金は6500円と、まあそこそこ。ま、いいでしょう。

大きな肉体的な疲れはなかったものの、700km近く走って来たとい

う感覚があり、やっぱり私もぐーすか寝てしまった。

本日の走行：675km

■8月27日（日）

「次なる湖」 十二湖・田沢湖制圧セヨ

6時30分、起床。7時朝食。なんという健全な生活なんだろう。出発点は十和田湖ナリ。7時51分出発。先を急ぐため、十和田湖のシンボルである「乙女の像」はパス。一路、国道103（102）号を進む。

宿を出ていきなりダートが出てきて焦ったが、大した距離ではなく無事通過。そして湖畔を一周し、ちよつと止まって写真を撮影。で、この先は馬車馬のように先を急ぐ。

大したことはないと思っていた十和田湖一周道路はワインディングの連続で、そこそこ面白かったが、そろそろガスもヤバイ。でもなかなかスタンドは見つからず、国道102と454号を経て、結局、ふもとの7号長嶺まで下りてしまった。

幹線道路たる7号を走ればガソリンスタンドがあるかと思いきや、なし。泣きが入りそうになったところで、大鰐で「ENEOS」の看板を発見。いざゴー！ しかし……休みナリ。

うむむとへこみつ、7号に返る道を進んでいくとあった！ ガソリンスタンド！ なにやらばあちゃんか一人が店番してるところで、大丈夫かなあと思ったけど、元氣なばあちゃん、何の問題もなく給油。

「どこにいくかね？」「岩木山をまわって白神山地と十二湖まで」「そうかいそうかい、ならアップル



「ロード行くとええよ」。

まさに、その道へ行こうとしていた。ばあちゃんに見送られ再出発。ちなみにこのばあちゃんのカソリンスタンドのハイオクが、一番安かった。なんと146円だった。値段を書き換えていないのだろうか？ これはいくらなんでも安すぎる！ また行こう（イケネーイケネー）。

ばあちゃんのいつつけ（？）どおり、国道7号から県道127号へ。ここから先は非常に快適な、そして左右にリンゴ畑を望むアップルロードである。畑に落ちていた青リンゴに手が出そうになったが、先を進む。おお、左手に岩木山が見えてきた。別名「津軽富士」というだけあって、きれいな形をした山である。

「あれが北海道だ！」
「ってたぶん津軽半島？」

岩木山をまわるには、県道30号と県道3号があるが、今回は南側から西に抜ける3号を使うことにした。県道3号は岩木山をまわり北進。そして日本海側の鰯ヶ沢に抜ける。いやあ、ほんとうにいい天気、そしていいワインディングだ。昨日の疲れもなんのその、順調に先に進んでいく。そして国道101号に接続

し、ついに日本海側に出た！
見えた！ これまたきれいな海と空だ。後ろでかえるさんが拍手している。いやあそれほどのスバラシイ景色だった。

この美しい海岸と空を見ながら、日本海をまわっていく。そして名勝の地と言われる千畳敷海岸に到着。天高く、そして空青く、海もしかり。最高の情景だ。そしてはるかかなたには……おつ北海道が見える！

いやーすげーすげーとかえるさんと喜んでいたのだが、冷静に考えるとそれは津軽半島だったような気がしてならない。まあ、地元の人々の寒い視線を浴びたわけではなし、よしとしよう。

さて、旅はまだ長い。が、若干腹が減った。朝飯は宿でガッツリ食べたので餓死寸前というほどではないが、まだ先は長い。ではここでイカでも食うとしよう。

道の駅ふかうら「イカ焼き村」で300円のイカ焼きをゲット。マヨネーズをたっぷりつけて、海を見ながらの肉厚のイカはうめえ！ あーこりやうめえ！

深浦をまわり、そして沢辺をまわると、白神山地が見えてきた。く、この青空、海、青みがかった山々の風景。たまらん。きれすぎるっ！

ここでこれを見ながら、夕暮れまで酒の一杯でも飲めれば最高なのだが……ムリだな。意を決し、十二湖に急ごう。途中省略し、速攻で十二湖ビクターセンター前に到着！

十二湖はその名とは異なり、白神山地にある33個の池や沼の総称である。さすがに全部をまわるのは時間的に無理だったので、一部だけまわった。今度は空の青と湖と木々の緑

が爽快な、いい場所であった。
ちなみにビクターセンターより先にほかの湖があるのだが、約1名はここで寝ていたことは内緒にしておこう。私は一人ほかの湖を撮影しに行ったのであった……。というわけで、本日の第一目標制覇！ では先を急ぐとしよう。

男2人でアイス休憩 観光スポットを堪能する

一路国道101号を能代に向かう。能代からは、県道23号に入りシヨートカットだ。秋田・高峰山方面の空は相変わらず好天！

そして米代川を望み、再度国道7号に入る。7号で道の駅「きみまち坂」に寄る。時刻は15時過ぎ。まだまだ暑い。珍しくソフトクリームなんぞ買って食ってしまった。むさい男2人が並んでソフトクリームをなめてるのを、若い女性たちがうさぐさそうに横目で通りすぎる。

さて、この先は国道105号を使って、一路田沢湖まで南下だ。途中またまた道の駅「阿仁・またたび館」へ。かえるさん筋肉痛につき、途中の町でバンテリンを購入。

そしてまた進む進む。105号から、やつと田沢湖に向かう県道38号へ。ちよつとした峠を抜ける道。そして木々の間から、夕暮れの田沢湖が見えてきた！

こいつああ青いきれいな湖だ！ これまた拍手もんである！ 若干湖のほとりをまわり、「辰子像」前までやってきた。この有名な辰子像であるが、ここまでキンピカである必要はあるのだろうか？

なんてな疑問はまあさておき、一応、第一級観光名所のスポットに来

たということで、他観光客に紛れながら写真を撮るバシバシ撮影。しかしどうも合成写真っぽく写ってしまうのは、このキンピカな……（以下略）。いやいやいや、楽しいなあ旅は。そして田沢湖は。たっしーも（誰だそれ？）サイコー！

田沢湖の夕日も堪能し、そうして私の2006年8月27日は終わり、田沢湖の民宿なのにミィハーな名前の「ビーチハウス湖翠」に投宿したのであった。

そういうわけで、今夜もかえるさんとダベリながら夜は更けていった。明日はかえるさんお帰りだな……。楽しい二日間であった。本日の走行……320km

「二人旅」 牡鹿半島制圧セヨ

■8月28日（月）

現在地は田沢湖。一時は、93ページまで達したツーリングマップルのページも、かなり前進してきたもの



●感動的な十和田湖の夕日

だ。そして、この旅も3日目に突入。今朝も早くから爽快地早起きだ。6時30分起床。ちょっと田沢湖を散策後、本日は7時30分から朝食ナリ。

メシを食おうと思ったら、なんだかハチみたいなのが入ってきて、やたら私の塩シャケを襲おうとする。民宿のオバチャンが気にして、追い払おうとしてくれるのだが、一向にいくならない。

ブンブン振りまわす手が至近距離なので、ビンタ食らいそうになる。しまいには、ハエたたきを持ち出して、たたこうとする。そのハエたたきで私の塩シャケをたたかないでほしいのですが……。

お客様に不快な思いをさせまいという、その心意気には感服いたしますが、こっちはもう半べそ状態。「いやいや、ホント大丈夫ですか(泣)」、「ほんと困った虫ねえ」バシバシ！「聞け、俺の心の叫び」

一瞬ハチがいなくなってくれたので「もう大丈夫です、ホントにもーホント」。ハチがいなくなったことより、ハエたたきおぼちゃんがいなくなったことのほうがうれしかった。

そんな紆余曲折はあったが、とりあえず朝食完食。再度ハチ君が飛来したがもう放置。念願の塩シャケの余った魚肉をハムハムして、きれいにダンゴ状のものをこしらえて満足そうに飛び去っていった。どうでもいいけどかなりしょっぱいよ、それ塩分取りすぎには注意するんだよ。

とまあ、そんなこんなで今日も元気に出発。今日はあまり天気がよくなさそうだが、予報によれば南下すれば降雨もなさそう。幸いこれからの行程は、南下オンリー。では出発しましょう。8時45分出発！

そこからは国道341号を南下し、46号を東進。ほどなく東北道盛岡ICにたどり着く。かえるさんとは、途中まで一緒に一緒にすることになった。紫波SAで一服。

そういえば、昨日の晩はダベツてばかりで、今日の予定は全然決めてなかった。かえるさんはお帰りだし、自分一人だし、どうとでもならーと思っていたものの、あまりにも無計画。

紫波SAで、適当に石巻でも行くかと決める。かえるさんが銀行に行く用事があるらしいので、一関あたりで下りることになった。

一関で高速を下り、最寄りの銀行へ。かえるさんが銀行で手続きをしている間、バイクの横でポケーとしていたら、おっちゃんが近寄ってきて「どこからきたのか？」といったことを話しかけてきた。

なんかでかい声でしゃべってくれたのだが、いまひとつ言葉がよくわからない。川崎？ 遠いねえ？ どこから来てどこへいくのか？ なんて会話だったと思うが、ちゃんと受け答えできていたのか少し怪しい。

「これ何cc？ (あ、ナンシーさんだ！)」だけはちゃんと聞かされた。でも気のいいおっちゃん「気をつけてなー」と言い残し、軽トラでさっそうと走り去っていった。

牡鹿半島手前で昼ご飯 ウニ丼のつまみに脱帽

かえるさんは国道4号&東北自動車道でお帰りと相成った。私は342号でみちのくひと旅の続行と相成った。旅、継続ナリ！
国道342号は、一関から石巻市方面まで延びている国道である。途

中、北上川沿いのゆったりした風景を眺めながら走るこの道である。曇天ではあるものの、なかなかいい川沿いの景色を堪能しつつ、南下する。

で、ここからが問題だ。だいぶ石巻市に近づいてきたものの、これでもいいのか私の人生(大げさ)。東北の日本海側を堪能した？ では太平洋側の立場はどうなるのだ？ 同じ日本であろう！ わかった、俺も男だ、行つたらうじゃないか！

国道342号は、いったん45号と合流するが、そのまま石巻市に行かず、北上川沿いに若干県道197号を東進すると、国道398号に分岐する。そしてちよとした峠を進むと、目前に見えた。海だ！ リアスブルーラインだ。かなり曲がりくねった細い道であり、西伊豆の大瀬崎界隈を彷彿させる。

「南三陸金華山国定公園女川湾」なんてところで一人で、いいなあ、いいなあ、とかいいつつ写真を撮ったりしていたものの、そろそろ腹が減った。今日は民宿でハチ……じゃなくて朝食をちゃんと食べたのだが、まだまだ先は長い。なんかうまいものでも食いたいのだな。

おあつらえむきに、ツーリングマッブルで「おじか食堂」が紹介されていた。ではここに行くしかないっ！ 待ってるよ、うに丼！

牡鹿半島に至る前の漁港にそれはあった。ちよと迷ってしまったが、道から一本外れた場所にその店を発見。さすがに平日の昼だけあって、あまり多くのお客さんはおらず、テーブル席につくことができた。そしてメニューを見ると、なんとリーズナブルな「かさね丼」の文字



●海と青空と白神山地。キレイすぎる！

が目飛び込む。ううむ、2つの味覚を食することができて、この値段！ 敵もさるもの、こちらの貧乏性を鋭くつけてくる価格設定だ。なかなか悩む設定である。が、こ

こはまずウニは外せないだろう。後は……安いほうでいいや。「重ね丼、うにとかに、ヨロシク！」。1890円ナリ。

カニはそこそこだったけど、ウニがおいしかった。いやー美味！ 余は満足である。さて、腹も一杯になったことだし、次に進もう。が、この先どうしたものか？ すでに時刻は14時30分をまわっている。まあ、本日の宿泊は仙台かな？ 途中になんかあればそこでもいいし。とりあえず、目先には牡鹿半島

がある。そこには「コバルトライン」というオイシげな道もあるようだ。では、そっちにゴー！

牡鹿半島は意外にでかい 予想どおり(?)の展開に

国道398号からの分岐で、県道220号というのがあり、これがコバルトライン。平日ということもあり、クルマは少なからずいい感じのワインディングが続く。景色もかなりよろしい！

牡鹿半島を半周したところに、まわり一周を一望できる展望台がありそこに駐車。しかし、こういう海の見える景色は人の心を穏やかにしますねえ……ホント。
さてさて、すでに時刻は15時30分。



大した大きな半島ではないと、ナメてかかっていたのが失敗。かなりの時間を要してしまった。まだ先は長そう。先を急ごう。次は松島だ！……というわけで一挙に到着。ああ、松島や……。バイクを止めてトイレに行こうとしたら、チャリダーのおっさんに捕まってしまった。

なにやら、バイク乗りでもあるこの人、結構好きでいろいろとまわっているらしい。バイクの話やら、行き先の話などしていたら、時間を食ってしまった。ううとトイレ行きなかったんだ！アインド、夕暮れで松島の景色がちゃんと見れなかったよう。



●おじか食堂の「かきね井」。ウニが美味！

ここで仙台のホテルに電話。特にあてはなかったもので、以前仕事で使ったホテルの番号が携帯電話に入っており、そこを予約した。

途中の酒屋で焼酎ボトルを買ひ込み、そしてさらに西へ。ちよっと迷ったものの、無事ホテルに到着。ちよっと休んで、仙台出身の後輩にうまいもの処を確認し、さっそく繰り出す。

目的地は歩いて3分の駅地下だ。仙台駅ビル内「すし哲」。ちよっとこじやれたお店。幸い月曜日の夜ということもあり、特に待たずにカウンターに座れた。

しかし、所持金もだいぶ少なくなってきたので、一番安い握りを注文。明日の予定を決めるためツーリングマップルを見ていたら、すし屋のにーちゃんに「どっからですか？」なんて聞かれて、いろいろ話し込む。

この店はもとと石巻市に本店があるらしい。すしネタは小ぶりであったが、おいしかった。個人的には、汚い店の大ネタのほうが好みではあるが……。追加で旬のサンマも握ってもらい、こちらもおいしくいただいた。

そういや、本日は海鮮もんばかり食ってるな。まあ、これまでは民宿メシが主体だったので、こんなプチグルメもよからうて。適当なところでして、ホテルに戻る。例によって、結局明日の予定は決めてないな……。

酒を飲みながら明日の予定を考える。やっぱり蔵王かなあ。よさげな道もあるしなあ、猪苗代湖も当然ターゲットだな。途中の湖も面白そうだ。よし、明日はこのルートで行こう！

会津若松の同じバイクに乗っている友人（以下「ヨコチャン」）に現

状を報告。速攻で、ヨコチャンから電話が。明日は蔵王から猪苗代方面に行くことを伝え、猪苗代湖近辺で落ち合う約束をした。

今回の旅程については、あらかじめヨコチャンには伝えていたが、かなり流動的であるか不明みたいな状況だった。が、急に具体的な段取りがついてうれしさが溢れた。明日、蔵王方面＆南下していく分には天気もよさそうである。期待できるかな？

というわけで、今日は酒を飲みながら、まったりゆったり、そしていっしょに寝てしまった。

本日の走行……343 km

■8月29日（火）

蔵王・猪苗代湖庄シ
現地同志二合流セヨ

7時起床。相変わらず仕事以外ではライダーの朝は早い。

昨今のビジネスホテルは、無料で朝食がついていたりする。といっても、おにぎり十味噌汁α程度のものであるが、それでもありがたい。朝食を、もさもさバクバク食べて、手っ取り早く身支度。8時5分仙台出発！……つてか、雨降ってるんですけど!? ま、いいか……。

平日の朝ということもあり、市街地を抜けるのに若干時間を食ってしまったが、それ以降は順調に進み、蔵王に抜ける国道286号に進む。さらに、蔵王エコーラインへ向かう国道457号に入ったら、突然雨が強くってきた。うむむ。

おあつらえ向きに山形自動車道下のガードがあったので、しばしここで雨宿り。うへー、かなりバイクが汚れてんなあ。まあ、まだこの先の



●太平洋の海の幸を味わえる「おじか食堂」

路面はウエットだし、しゃーねーな。とりあえず、メットにはつ水割を塗ったりしていたら、だいぶ雨もあがった。では、先に進みましょうか！

国道457号は、クライムヒルのわりと穏やかな道路だったが、途中で温泉街っぽいところに入ったかなと思ったら、そこから先はウエットなワインディング。おっかなびっくりでやりすごし、目的の県道12号「蔵王エコーライン」に入った。

このころには、かなり上空の天気

もよくなりだした。路面がウエットなのは気に入らないが、快調にこの道を飛ばしていく。ウエット路面は怖かったが、かなり曲がりくねった道でそんなに速度が出るわけでもなく、なかなか楽しい道中である。

そして、滝見台着。澄川溪谷「三階の滝」の、すごく荘厳な景色に見とれてしまった。このころには蔵王上空はあらかた晴れてきていた。木々の緑と、青空と、速い速度で動く白い雲があり、きれいな景色に「自



然の息吹」といった感じの情景が非常に印象的（大げさかもしれないけど）であつた。そしてさらに進むと、路面はおおむねドライになり、蔵王山が見えてきた。

こんなにだだっ広い駐車場に俺だけだ！ 流れる雲、聞こえるのは風の音だけ。

大自然だ!!!

おそるべし山形の峠！
霧また霧のワインディング

色だ。スキーシーズンの蔵王もよかったが、これはまた最高の景色だ。これを見られただけで、本日の第一目標達成といつて過言ではなない！ もう一日中、ここでこの山を見ていたい衝動に駆られた。と感動したものの、先に進まざるを得ないのがライダーの宿命（？）。まずはこのツーリングマップル東北編の、29ページの全体を占めるエコーラインを制覇しないと……。

この先は同様の景色が続き……と
思ったのもつかの間、高度が下がる
(つまり蔵王山の向こう側)に入っ

た途端、霧が発生。進むにつれ完全に濃霧状態。情景とかいう以前に、視界は10 mを切っている。うひょー、こんなのありかよ？

まさに五里霧中状態。半べそ状態でダウンヒルを敢行。メットのシールドがくもるが、開けるわけにはいかず、指ワイパーでしのぎながら進んでいく。幸いほとんど対向車はなかったたので、そのままの世送りになることはなかった。霧が晴れてきたのは、かなり下がつてから。そこから先はまだウエットだったが、かなり慣れてきたので若干飛ばしつつ、ふもとまで下る。さっきの濃霧はなんだったの？みたいな晴天の田園風景を抜け、次の目的地につながる国道13号へ入った。

ここから先は好天で、かつ暑い。平日の地方主要国道といった風情で、そこそこのスピードで流れている。この先には米沢市がある。

そして、その米沢市街を抜けると、
第二目標・猪苗代湖につながる県道
2号である。これまたツーリングマ
ッパルおすすめのロードであり、期
待が高まる。

「ダーとしてそれでいいのか？」といった葛藤があったものの、ホテルの無料朝食のおかげでそれはやり過ごすことができた。

ヨコちゃんには現在位置を携帯メールで報告した。いざ、猪苗代湖へ――

ここだけではないが、平日の観光地界隈の道は非常にすいている。二の道も同様。ほとんど貸しきり状態

速度でじゃんじゃん進んでいく。

ホンマ快適である。もちろん、ほどよい感じのワインディングである。

ことは言うまでもない。ああ、快なるかな快なるかな。

じゃんじゃん進むとともに、勾配もコーナーも険しくなってくる。ふんふん、いいんじゃない♪ どんとこい! やあゝってな感じで進んでいくものの、この勾配続きすぎじゃない?

なんだか雲も多くなり、道もウェットっぽくなっている。大丈夫かな？　で、気がつくとき……。ここは白布峠（標高1410m）。さらに進むと、雨は降らないものの相変わらずあまりにも坂が続きすぎるのかな、まあめ見晴らしもいいからいいかな……なんて思ってたって峠を越えた途端、再度五里霧中。ここは東鉢山（標高1512m）ナリ……。後で（※ちなみにこれらの標高は、調べたもの。当時はそんな情報は知

らなかつた

雨上がりの猪苗代で
ヨコチャンと待ち合わせ

山形・福島の県境はこんなあんばいであった。気を取り直して走り続けるが、その先が、「白布七曲」と言われるほどの、恐怖のダウンヒルつづら折りの、ヘアピンカーブの連続。しかも、霧とウェット状態。

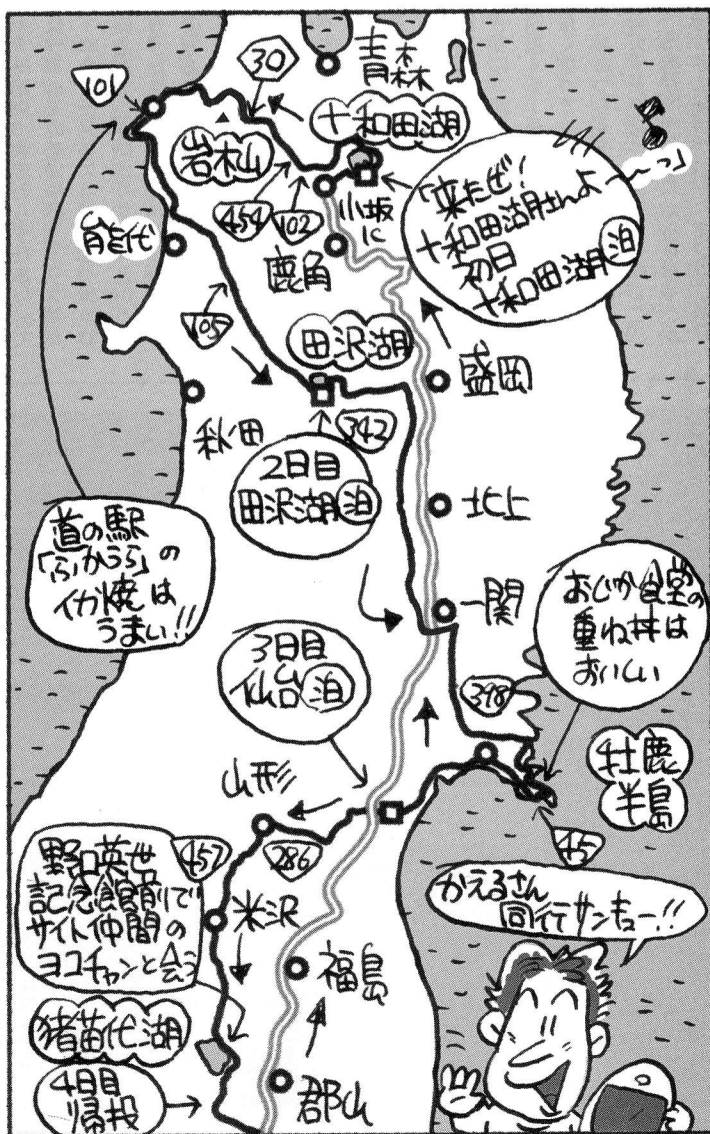
先ほどの蔵王越えのシチュエーション十鬼カーブだ。今度も半べソ行軍となった。おつかね。もうこの先はタイヤのウェット性能を信じるしかない！

幸い大きな問題はなく、次々へア
ピンをこなしていく。いち、に、さ
ん、な、は、ち、き、ゅー、じ、ゅ、う、ご、
じ、ゅ、う、ろ、く、つ、て、か、お、い！ カーブ

は7つどころかその倍以上あるじゃねえかつ。ナナマガリジヤネー！

かなり疲れながら やつとふもと
の湖にたどり着く。どうすべ？ ま
だ約束の時間には早いので、いったん喜多方に抜けてラーメンでも食うかな？ と思ったが、若干の疲労に負けて、とりあえずこのまま南下し猪苗代湖に向かうことにした。途中、いったん雨の檜原湖で休憩。ここはまあ、普通の湖。

県道2号は、引き続きこの湖に沿って走る。まだ雨がバラついていて雨が眺めはよい。そして2号から猪苗代湖に延びる国道459号に入る。さらに115号を使って南下。このころには晴天に変わりつつある猪苗代湖に出る。ええじゃないか！ ええじゃないか！



モーターサイクリスト
定価 420円

www.yaesu-net.co.jp

毎月1日発売

定期購読

しませんか?

定期購読なら
特別定価の時でも

料金はそのままです!!

**送料無料
でお届け中!**

6ヶ月なら 2.520円
12ヶ月なら 5.040円

別冊 **MOTOR CYCLIST** 定価 700円
毎月 15日発売
6ヶ月なら 4.200円
12ヶ月なら 8.400円

スクーターファン
Scooter fan 定価 820円
奇数月 26日発売
12ヶ月(6回発行) 4.920円

まずはお問い合わせください。

(株)八重洲出版
東京都中央区八丁堀4-5-9

03-3552-8431

受付時間・平日9:30~17:30
e-mail: store@yaesu-net.co.jp
www.yaesu-net.co.jp



待ち合わせ時間には少し早いので、南側にまわり国道49号と県道376号沿いに走り、待ち合わせ場所



●濃霧で心細かった……。東鉢山 (標高1512m)

の野口英世記念館前でヨコチャンを待つ。

さて、ヨコチャンは、冒頭に記載した「XEOS」(X11オーナーズサイト)のメンバーである。サイトで知り合い、同世代であることや音楽的趣味も同じなこともあり、懇意にさせていた。ただ、これまではメールのやりとりが主で、実際に会ったことはない。じつは会うのは今回が初めてである。よって初対面だし、初心者でシャイな私は正直動揺している。

「おっかねーオッサンだったらどうしよう」、「エクストリーム乗りで火花散らしながら、最後はジャックナイフで来たらしよう」。有事の際には、即他人となって発進できるような身構えて(ウソ)、到着を待つ。

しばらく、「ウオーン」とスペックA(ヤマモトレーシング製のマフラー)の音とともに、私と同じ黒いX11が駐車場に入ってきた。メットを脱いだヨコチャンは、きわめて普通の人だった。どうも初めまして! こっちは何も用意しなかったの

に、お土産の色絵ろうそくなどいただいてしまいいろ縮至極である。

**ガソリンスタンドで
あわや誤爆!?のピンチ**

ってなことであいさつが終わっちゃうと、後は旧知の仲と変わらぬ様子でバイク談義が始まる(これが同好の同志はバイク乗りのいいところ)。あーだこーだ、このまま放つとくど夜まで会話が続きそうな感じ。

さすがにヨコチャンが気を遣ってくれて、今日はどうしようということに。そういえばこの先のことはほとんど考えてなかった。でも、ヨコチャンに遭遇したことで、今回の旅の目的はひととおり完結している。

一方、ヨコチャンのほうでは、宿泊先の候補などを考えていた。ヨコチャンには申し訳ないのだが、本日はこのまま家に帰ることにした。といつても、このままここでサイナラつてのものな……と思っていたら、ヨコチャンから、「ここから白河方面に抜けるいい道があるので走

りましょう」とのこと。いいですね! では参りましょう!

ここから東に猪苗代湖をまわる感じで、国道49号を進む。ボケーと走っていると、左手になにやらきれいなお山が見える。「あつ、あれが会津磐梯山?」。

そういう、途中は雨で見えず、先ほどの駐車場にいたときはそんなことはすっかり忘れていた。うーむ、止まって写真を撮りたいものだが……と思ったが、ヨコチャンとツルンで走っている最中だったし、それはかなわず。残念!

国道49号から分岐し、さらに猪苗代湖をまわっていくのが県道9号。湖の眺めが非常によろしい。昼過ぎ、夕暮れ前の、絶妙な太陽光の下でのこの風景は、とてもきれいなものであった。

そしていったん県道6号を経て、国道294号へ。この先も非常に走りやすい高速コーナーが続ぎ、爽やかな空気のなか、2台のX11がさっそうと走り抜けていく。で、途中で燃料残量警告などが点

灯したので、ちょっと先行させてもらい、国道118号で最寄りのガソリンスタンドに入る。給油そのものは何も問題なかったが、給油後、後ろにクルマが来たので、バイクを少し離れたところに移動した。そしたら、洗車機の後後ろだったらしく、いきなりクルマがバックで迫ってくる。体が凍りつく。んが! 止まれ止まれ止まれい! バイクから逃げようとしたその瞬間、残り3センチでクルマが停車! はあ、心臓が悪い。ガスタのおっちゃんがりしきりに謝っていたが、心臓バクバク。今日はこで野宿かとオモタよ。はあ。

隣がセブイレブンだったのでここにバイクを移し、しばし休憩。ここでもまた「眠気覚ましに」とブラックラックガムをいただいてしまった。ほんとうに恐縮です。

ここから東北自動車道須賀川までは、もう少しの距離だ。今日はあまり多くの時間を過ごせなかったけど、また必ず来ますと約束し、最後の走行に入る。そして須賀川ICの入り口で最後のごあいさつ。

ほんとうにお世話になりました。
また会いましょう！ 今日行けなかつた温泉に行きましよう。都合がつけば、関東にもいらしてください！

ついに最後の戦い 「雨、走行注意」の意味

ヨコちゃんを見送り、私も須賀川ICから東北道に入った。楽しい旅の終わりである。あとは安全運転で帰るだけだ。ミツシオン完了！ コレヨリ帰投スル！

帰り道こそ慎重に。明日も休みだし急ぐことはない。日は暮れ始めているが、ゆっくり走っていいだろう。家までいたい260kmの道のりだ。

天気も……。あれ、なんかこの先「雨走行注意」って出てるぞ？ まあ大したことはないだろう。若干パラパラ雨に降られたものの、無事那須高原SAに到着。なんだ大した雨じゃないじゃん。

若干休憩し、先に進む。走り出すぐ、再度「雨走行注意」の警告が出ている。また、どうせ大したことないだろうとタカをくくっていた。事実そのすぐ先で、再度パラ雨に見舞われた程度である。よって鼻歌交じりに順調に走行していく。

日はとっぷり暮れてきたが、特に問題はなし。「フン楽勝だぜ」と思ったそのとき……「カン！」

……え？ 何かがメットのシールドに当たる。ん？ 虫？ と思う間もなく、次の瞬間、全身に打ちつけるような、恐ろしい豪雨が降った。雨が痛い。

視界はほとんどなく、前走車のテールランプがかるうじて見える程度。さすがに80km/hに落ちたがあまり

り変わらない。それ以下の速度にしても、雨はさらに強くなるばかり。

上半身は防水のジャケットだからいいが、下半身はジーンズのままで、速攻で水浸し。パンツからケツの穴付近まで水浸しである。カッパに換装したくても場所がないし、すでに無意味な状態。

なんだかもう、あはははな感じ。ヤケクソ気味に走り続けるしかない。いやあ旅は楽しいわあ。

永劫と続くかと思えた豪雨も20分ほどで小降りになり、上空にはうっすらと月さえ見えてきた。ホッとひと息である。参った、参った。

まあ、このまま走れば服も乾くかもなと思っていたら、再々度、「雨走行注意」。まあ冗談でしょ、さっきの雨のことだし……「カン！」（以降省略・20分前に戻る。ちなみに先ほどの2倍程度の豪雨・時間）。お天道様、私は十分参りました。グウの音も出ません。ほんとうにありがとうございました。

というわけで、へろへろで次の佐野SAに寄港。下半身はパンツまでぐちゃぐちゃ。その後の走行で若干、ジャケットは乾き始めたものの、布のジーンズ下半身はまだお漏らし状態。

バイク置き場にいたCB1300SFのお兄さんと、ひでえ雨だったすねえ……なんて傷をなめあったりなんかする。

しかし若干腹が減ったな。でも服が濡れてるなあ。もう知らないやい、とばかりにレストランでメシを食うことにした。「お客様、当店ではお漏らしの方はご遠慮いただいております」というおとがめも特になく、無事佐野ラーメン（角煮ラーメン）

にありつくことができた。

ちなみにその先ではもう、雨にた

たられることはなかった。順調に川口に出て、首都高速道路に入り、2回の工事渋滞に阻まれたものの、特に問題なく羽田出口に到着。そして、22時13分無事自宅到着。

本日の走行……484km

旅が終わって…… 仕上げは洗車で締め！

最後は若干（？）雨にたたられたがそれもまた一興。楽しい旅であった。5日目は、夏休みの最終日。すでに4日間で5日分は楽しんだよなあ。というわけでじっくり腰を据えてバイク掃除だ。

前述しなかったが、実は岩木山周辺の道路で、路上にバラまかれた青いペンキを踏んでしまったようで、車体のいたるところに青ペンキが散乱付着している。

かなりムカついたものの、誰に怒っているのかわからずその場では処置できずに、放置したままだった。また通例どおり、タンク・リヤカウルには荷物とのかすれによる、小さいがかなり目立つ傷が散見される。これまた補修必要。そして全体的にドロドロなバイクの洗浄は必須である。5時間かけてピカピカにした。これにて完全終了！

最後に。

久々のロングで楽しい旅だった。って書いてやうとこの一言で終わっちゃうんだが、走っても止まっても、泊まっても食べても、すべて夏休みの楽しい思い出になった。そして、こんないい加減な、予定もなにもあったまんじやない、旅に

おつき合いいただいた、かえるさんとヨコちゃんには感謝感謝です。

このような時間があってこそ、またバイクに乗るために働くのもまあいいかなと思えるってなもんです。

おつき合いいただいた方、道中掲示板やメールではげましていただいた方、職場の皆さま、そして自宅に残してきた奥様、ありがとうございます。

編集部より

東北・湖めぐりは面白いプランで

すね。山深いエリアだからこそ、湖も多種多様。観光地から秘境まで、つなげて走るツーリングを楽しむことができます。それゆえ山を下れば、海の幸も味わえますしね！

事前に計画を練るのが楽しい、という人もいれば、「とりあえず行っから決定！」という人もいます。ツーリングの楽しみは人それぞれですが、相棒がいてすら、とことん現地決定のおおらかさはスゴイです。アクシデントも楽しむこの姿勢、今後どうぞ貫いていってください。

応募の決まり



- 400字詰め原稿用紙5〜10枚程度にレポートをまとめてください
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号、車種(正式名称&年式)を明記
- レポートに関係する写真を5〜6枚程度とその説明(景色ならその地名、印象など)。写真はできるだけ本人が写っているものを
- 走ったルートの略図(国道番号や地名は正確に。難しい読み方にはカナをふる)を付けてください
- 全日程/走行距離/総費用(わかる範囲で内訳も)/平均燃費(だいたいオーケー)を書いてください
- 以上を封書であて先まで送ってください(メールも可。mc@yaesu-net.co.jp)。なお、原稿と写真は、採用、不採用にかかわらず返却いたしません
- 採用原稿や写真は、小社のホームページ(<http://www.yaesu-net.co.jp>)に転用することもあります



採用者には
原稿料5000円を
進呈します

あて先 **〒104-8488 (株)八重洲出版**
モーターサイクリスト編集部「たびろく」係

個人情報の取り扱いについて●このコーナーあての投稿で編集部が得た読者の個人情報の提供は、投稿謝礼の発送のほか、本誌企画にご協力いただく際の連絡にも利用することがあります。ご本人の許可なくそれ以外の目的には利用しません。また、ご投稿いただいたEメール、写真や原稿類は編集部で厳重に管理し、使用後は破棄します。